

つげしょう 柘植小だより

2024 (令和6) 年10月 1日



第7号

伊賀市立柘植小学校

HP二次元コード 校長 松本 徹

校外学習を通して力をつける



10月に入り、朝夕の涼しさが増し、日中の気温もようやく30℃を下回るようになってきました。7月から続いた暑さも、やっと終わりが近づいてきているようです。

先月20日、秋の吟行のトップを切って、6年生が山出区の萬壽寺に行ってきました。芭蕉さんゆかりのお寺である萬壽寺やその近くにある芭蕉公園で、山繭の会の松尾紀子さんと桑原智代美さんから秋の季語などを教えていただきながら、俳句づくりに取り組みました。1年生から5年生は、今月、校外で楽しく秋を見つけながら、俳句づくりをする予定です。

また今月は、修学旅行、社会見学、遠足、三校交流会など、各学年の校外で行う学習が続きます。学校でつけた力をもとにして、校外学習でさらに子どもたちの力を伸ばしていきたいと考えています。持ち物の準備やお弁当づくりなどでお世話をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

10月の行事予定等

<10月>

- 1日 (火) 4年生三校交流会
- 2年生吟行
- 2日 (水) 1年生吟行
- 3日 (木) 修学旅行1日目
- 4日 (金) 修学旅行2日目
- 3・5年生吟行
- 8日 (火) 教育ボランティア会議
- 10日 (木) 4年生吟行
- 11日 (金) 育友会一斉登校指導
- 1・2年生遠足
- ※予備日10/25(金)

- 14日 (月) スポーツの日
- 21日 (月) 委員会活動
- 22日 (火) 5年生社会見学
- 23日 (水) 水曜集会

<11月>

- 1日 (金) 研究発表会のため
5限授業 14:25下校



じゅぎょうさんかん じんけんこうえんかい がっきゅうこんだんかい 授業参観・人権講演会・学級懇談会

9月27日（金）に行いました授業参観・人権講演会・学級懇談会へのご参加、ありがとうございました。

授業参観後に行った人権講演会では、『福祉』という言葉に『暮らし』という言葉に置き換えて～「人が生きること」「人が暮らすこと」「人が働くこと」そして「人が支え合うこと」～という演題で、伊賀市にある社会福祉法人維雅幸育会ふっくりあホイスクーレ副管理者の藤岡絵都子さんからお話を聞かせていただきました。

藤岡さんが、現在の仕事に携わる中で感じてきたことや、福祉先進国であるデンマークでの研修で教えてもらったことなどのお話を交えながら、「一人ひとりに合った支援」や「自分で自分の人生を選ぶということ」について伝えていただきました。

保護者の皆様からいただいた感想の一部を、紹介させていただきます。

○ピザを3つにわけるとお話、考えさせられる内容でした。「必要なところに、必要なだけ」という考え方が、今の日本の社会に足りていないと感じました。一人ひとりのニーズに正確に伝えていくことが大事だと思いました。

○「人はそれぞれ違う」ということが当たり前ののですが、自分の基準で考えてしまっていることが多いと思いました。

○一人ひとりの好みややりたいことがあるということを理解し、その人に合った支援をされていることがよくわかりました。

○とても心に響く話でした。藤岡さんの「自分を見つめる毎日」という言葉が、心に残りました。

○ピザの話聞いて、なるほどと思いました。物事を自分の判断ではなく、相手の立場に立つことが、「公平にわけると」ということだと知りました。

○障がいのあるなし関係なく、いろいろな人が一緒に働ける時代が早く来てほしいと思いました。

○スライドの写真を見せてもらい、みなさんがいきいきと活動されていると思いました。「一人ひとり違うということ」を、改めて教えていただきました。

○わかりやすいお話でした。中でも、「公平」と「平等」のお話は、とてもよくわかりました。

○「公平」という言葉の意味をきちんと理解して、物事を考えないといけないと思いました。

○子どもたちにも、「平等」と「公平」について教えたいと思いました。

○今までは、「すべて自分でやらなければ」と思ってきましたが、これからは他の人の支援も頼ろうと思いました。

○生きるということは、自分らしさを大事にすることだと思いました。